

日本倶楽部案内

一会員からのおすすめ

正面から右手にかけて皇居の豊かな緑、左手には国会議事堂、霞が関の官庁街。ここから見える景色はもの静かなうちにも、落ち着いた文化を感じさせる。

ここ国際ビルの8階にある日本倶楽部からみた景観は、立地条件にも恵まれ、会員の心を和ませてくれる。

地下鉄日比谷駅を降りると地上に出なくて、すぐに国際ビルにつながる。アクセスは申し分ない。

図書室が明るく広々としている。ゆったりとソファに座り、雑誌を読む者や机に向かって専門書を読み耽る者もいる。とにかく蔵書が多い。これほど恵まれた図書室を利用でき、利用されている倶楽部は他にあるだろうか。

たまに打ち合わせのための来客があるとわざわざ自宅に来てもらわなくてもこのラウンジは十分オフィス代わりに使える。もちろんラウンジは会員相互の交流の場でもある。

当倶楽部の最大の魅力は講演会だと言われている。各分野の第一人者を講師に迎え、月3回ペース、年間30回に及ぶ講演会は圧巻である。

講演内容は、政治、経済、外交という分野の最新情報はもちろんのこと、歴史、健康、歌舞伎、浮世絵、哲学、日本語、ワイン等々の文化、教養の多岐にわたり、知的刺激が与えられる。気分が高揚したり、脳が活性化したりする。

ゴルフ会は近隣名門コースで定期的開催され、腕自慢ばかりでなく、気楽に参加できる。

囲碁、俳句、書道、水墨画、謡曲、小唄などの文化活動も積極的に参加すれば面白い。

その他施設見学会やお隣の出光美術館鑑賞会も魅力的である。

今、石原会長以下執行部の皆さんは会員相互間の交流をもっと深めようということで、午餐会をはじめ、いろんな機会を利用して、倶楽部をより魅力あるものにしようと様々な企画をされている。先日もタブレット講習会があった。ガラケー人間として少々抵抗があったが、結構面白かった。

当倶楽部は、明治31年に創立され日本で最も古い倶楽部の一つと言われ、伊藤博文がここで内閣組閣案を練り上げたとか、二・二六事件の際会員の或る大臣がたまたま当倶楽部にいたので難を免れたとか多くの逸話や重い歴史を背負っている。その歴史と伝統の重みを感じながらも、今日の時代に即応した倶楽部として活動しようと石原会長以下意欲的に取り組んでいる。

これからの当倶楽部の発展のためには新しい血液を必要としています。

志のある方々が是非仲間になってくださいますよう、おすすめいたします。お気軽に参加してください。